

1. 企画総務室の体制

事務スタッフ4名(企画・総務・人事・広報・経理・購買)、施設・設備管理スタッフ1名の計5名体制で臨んだ。

経営的にも4年連続の黒字決算で締めくくることができ、医師を中心に提供体制面も充実した。次年度はより働きやすい環境実現のため、企画総務室として全面的にバックアップに務めたい。

2. 職員数推移

職種	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末
医師	9	12	11	11	12
看護師・准看護師	65	67	71	74	74
看護助手	15	14	13	12	13
薬剤師	4	4	4	4	4
臨床検査技師	6	6	6	7	7
放射線技師	3	4	4	4	4
理学療法士	7	6	8	9	9
作業療法士	6	7	7	8	7
言語聴覚士	1	1	1	3	3
臨床工学技士	0	0	0	0	0
管理栄養士	2	3	3	3	3
MSW	2	2	2	2	2
事務員	11	12	14	13	15
労務員	1	1	1	1	2
合計	132	139	145	151	155

※医師は当院所属で熊本病院への派遣医師、熊本病院からの派遣常勤医師含む ※委託職員除く

3. 2010年度採用状況(2010年4月1日採用)

職種	試験日	受験者数	採用数
看護師	2009.8.7	9	2
理学療法士	2009.11.27	3	1
管理栄養士	2010.1.22	11	1
計		23	4

※受験者数は書類選考後の人数

4. 階層別研修会

研修会名	開催予定日	対 象	目 的
新入職員研修会	4月1日(木)・2日(金)	新入職員 4人	医療人、済生会職員としての基本的事項を身につける
2年目フォローアップ研修会	10月16日(土)	2年目職員 13人	入職してから2年が経過し、社会人・医療人としての立場を再認識させる
係長・主任研修会	11月 8日(月)	係長・主任 18人	病院・自部署の課題を把握し、その解決に向けた具体的な取組みを検討する
中堅職員研修会	11月27日(土)	4年目職員 9人	病院の方針や現況、課題を把握することにより病院運営への参画意識をはかる。 また、部署内でのリーダーとしての位置づけを認識させる
幹部・リーダー研修会	12月 4日(土)	幹部・医師・所属長 23人	次年度行動計画を策定する

5. 健康フェスタの開催

救急隊、地元商店会、小中学校、バス会社とタイアップし、未開拓エリアの住民と若年層の誘致を目的に結構フェスタを開催、動員目標の500名を達成した。

6. 環境整備

外来診察室のアメニティー向上のため什器備品、床面を木目調に更新し、明るく落ち着いた雰囲気とした。また、次年度の健診事業開始の準備として健診センターを整備した。

7. 連携機関向けパンフレットの作成

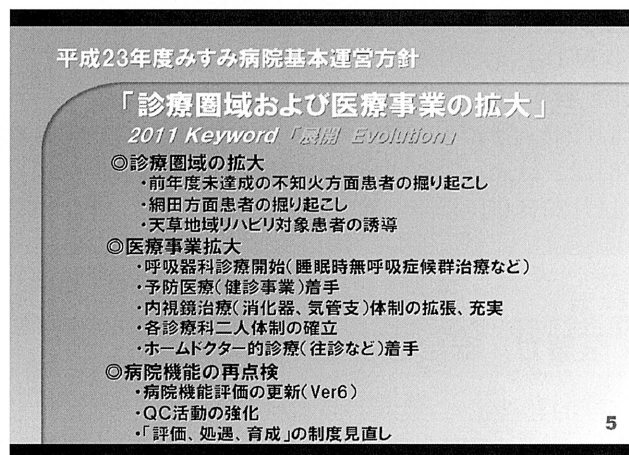
患者向けではなく、救急隊や連携医療機関向けに、当院で対応可能な治療・処置内容について周知するためのパンフレットを作成した。

8. 院内QC活動・大会の企画立案

事務長を中心にプロジェクトマネジメントを行い、麻生飯塚病院の見学、各グループへの助言、発表フォーマットの標準化、優秀活動への評価(表彰)を行った。

9. 2011年度行動計画策定

医師の増員、新規事業の開始など、新たな展開のスタート年とするため、キーワードを「Evolution」とし、職員のモチベーション向上に病院あげてバックアップする事とした。



10. 2010年度職員朝礼実績

	内 容	備 考
4	新年度挨拶事業計画	藤岡院長
5	H21決算報告	木下事務長
	ヒアリング結果	医療サービス向上委員会
6	回復期リハビリテーション病棟・訪問リハについて	リハビリ室(力丸主任)
	H22事業計画	木下事務長
	あいさつと笑顔	庄野副院長
7	無料低額診療と済生会	木下事務長、荒木MSW主任
	選ばれる病院になるために	大島診療部長
8	第一四半期実績報告	木下事務長
9	看護必要度の報告	看護部長、右田看護師長
10	職員スピーチ	
11	上半期実績報告	木下事務長
12	回復期リハビリ病棟の業務報告	リハビリ室 柳田、看護師 永濱主任
	未収金の状況報告	医事室 佐藤
1	院長講話「平成22年年頭挨拶」	院長
2	第3四半期実績報告	木下事務長
	リハビリ学会発表 2名	リハビリ室
	医療サービス向上委員会報告	医療サービス向上委員会
3	外来検討委員会 待ち時間調査報告	外来検討委員会
	QC結果発表・表彰	QCプロジェクト